

タイトル名	あなたのバグ票、大丈夫ですか？
企業名/団体名	バグ票ワーストプラクティス検討プロジェクト
<p>概要</p> <p>ソフトウェア開発プロジェクトの中で、もっとも多くの人が作成に関わり、もっとも多くの人が読む“ドキュメント”、それがバグ票です。設計ドキュメントとともに、プロジェクトチーム内のコミュニケーションに大きな役割を果たすバグ票ですが、文字だけのコミュニケーションならではの問題が起きやすいのではないのでしょうか。</p> <p>我々、バグ票ワーストプラクティス検討プロジェクトでは、バグ票に関わる問題を収集し、分析することを通じて、バグ票をプロジェクトチーム内のコミュニケーションToolとしてもっともっと活用できないかを考えています。</p> <p>今回のポスターセッションでは、なぜベストではなく“ワーストプラクティス”収集を発想するのかという本プロジェクト発足の経緯、現在まで収集した事例から抽出したワーストプラクティスの報告とともに、我々の活動についてご紹介致します。</p>	

タイトル名	ソースコード品質解析ツール「AdLint」、及び品質評価ツール「Adqua」のご紹介
企業名/団体名	株式会社オージス総研
代表者氏名	渡邊 該
<p>概要</p> <p>ソースコード品質解析ツールは有償であるため、従来は一部企業での利用に留まっていました。弊社は「AdLint」を開発し OSS として無償で公開することにしました。</p> <p>■AdLint の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソースコードに潜在する問題を自動的に検出することができます AdLint が出力する警告メッセージを元にソースコードをより安全で品質の高い状態へ改良することができます。また測定された品質メトリクスを定期的にチェックすることで品質の変化を定量的に評価することができます。 ・当社が無償提供する品質評価ツール「Adqua」と連携してお使いいただけます <p>■Adqua の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質解析ツールの解析結果を元に、品質特性の観点(「信頼性」、「効率性」、「保守性」、「移植性」、「再利用性」)で 得点化します。要素間の依存関係も把握できるため、設計レベルの問題の発見や改善に役立ちます。 	

タイトル名	システム開発文書品質研究会 (ASDoQ (アストック)) ～開発文書の品質にご関心はありませんか?～
企業名/団体名	システム開発文書品質研究会 ASDoQ
代表者氏名	森川 聡久
<p>概要</p> <p>本ポスター発表では、開発文書の品質の重要性と、「システム開発文書品質研究会 (ASDoQ)」の紹介を行います。</p> <p>日頃の開発において、開発文書の品質が低いがために、さまざまな問題が生じているのではないのでしょうか。要求仕様書が曖昧に書かれていたので、その解釈が顧客と開発者で異なり、納入後にもめた経験はございませんか。あるいは、設計文書に設計の意図が書かれておらず、ピント外れのレビューが行われ、時間を無駄にしたことはありませんか。いずれも、要求仕様書や設計書などの開発文書の品質が低いために生じた問題です。</p> <p>ですから、これら開発文書の品質が定義され、計測され、一定水準を超えるように開発が進められていけば、日常の開発で生じる多くの問題が解決されるはずで。さらに、品質が高い開発文書を書く技術者を育成することができれば、企業の競争力が高まるはずで。</p> <p>ASDoQ では、開発文書の品質はどうあるべきか、どうすれば文書品質が向上するのか、どうすれば文書品質を計測・評価することができるかなどを研究していきます。会員は、研究成果を自由に活用することができます。ASDoQ への入会をお待ちしています。(http://asdoq.jp/)</p>	

タイトル名	自作テスト進捗管理ツールの紹介
企業名/団体名	ソニーイーエムシーエス(株) 東海テック 湖西サイト
代表者氏名	安達 俊
<p>概要</p> <p>MySQL データベースと PHP を使った自作ツールにより、テスト管理工数を削減した事例を紹介させていただきます。本ツールの特徴は、Excel で作成したテストケースをデータベースへ取り込み、WEB で素早く閲覧できることです。</p> <p>今まで自部署では Excel を使ってテストケースを作成し、テスト進捗の管理も Excel で行っていました。Excel は比較的自由に文章が記述でき、テストケース作成においては有効なツールです。しかし、テストログの管理という観点では、メトリクスの集計に時間がかかったり、テストケースの件数が多くなると処理が遅くなったりと、使いやすいものではありませんでした。そこで、MySQL と PHP を使い、進捗管理の部分を WEB ベースで行えるツールを作成しました。</p> <p>今回のポスターセッションでは、自部署のテストドキュメントの体系と自作ツールの仕様について説明させていただきます。また、ツールを更に使いやすいものにするために、皆様からのアドバイスを頂けたら幸いです。</p>	

タイトル名	テスト現場の改善事例 ～テストチームの奮闘記～
企業名/団体名	三栄ハイテックス株式会社
代表者氏名	八重樫 剛
<p>概要</p> <p>今回ご紹介するのは、大規模な組み込みソフトウェア開発におけるテスト現場の改善事例です。テストの現場担当者たちが、自分たちのプロジェクトおよびテストを見つめ直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テストチームの役割(目的)は何なのか ・ 今現状の問題は何なのか ・ 問題解決／目的達成のために何をしたらいいのか <p>を、悩み、考え、行動した実例です。</p> <p>具体的な取り組みとして、以下をご紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短期間で要求される仕様追加／変更に対するテストチームのアプローチ ・ 肥大化する回帰テストの改善 <p>参加者の皆様自身のご経験と照らし合わせて、参考にいただければ幸いです。またシンポジウム当日は、皆様の現場で起きている問題についても、ぜひお聞かせください。解決・改善に向けてともに考え、意見交換をしましょう！</p>	

タイトル名	テスト技法から原因分析
企業名/団体名	TEF東海 原因分析道場
<p>概要</p> <p>原因分析道場は、TEF東海(ソフトウェアテスト技術者交流会)の分代会です。TEF東海の中から、「テスト技法は、本を読んである程度知っているけど、どの場面で、どのテスト技法を使えばよいのか？よくわからないなあ」といった声や、「本来実施すべきテストをしなかったために、あとで、つらい結果になった」とならないためのテスト技法をしっかりと理解したい！といった声から、原因分析道場がはじまりました。</p> <p>TEF-東海原因分析道場では、WEBなどに紹介している実際に発生したソフトウェアによる不具合を題材に、本来やらなければならなかったテストケースを考察し、どのテスト技法を使えばそのテストケースを設計できたのかを分析、テストによる不具合の未然防止技術を身につける場となっています。あなたなら、どんなテスト技法で不具合をみつけますか？</p> <p>#当日は、いままでに挑戦してきた失敗事例をご紹介します。</p> <p>さあ、みなさん！ いっしょに悩み、考え、生きたテスト道を体得しましょう！</p>	

タイトル名	トラブルの再発防止をどうしていますか？ ～交通の危険予知トレーニング(KYT)の応用～
企業名/団体名	NEC アクセステクニカ株式会社
発表者氏名	良知 敦
<p>概要</p> <p>みなさんの職場では、</p> <p>「過去に失敗した事例と似たような失敗を繰り返してしまった」とか、</p> <p>「失敗の経験が若手や他グループに伝わっていない」</p> <p>などという 苦い経験 はないでしょうか？</p> <p>誰も、失敗したくて失敗する人はいません。</p> <p>でも、忘れたころに、呼んでもいないのに、</p> <p>ヒョッコリ顔を出すトラブル(≒バグやプロセス上の問題など)。</p> <p>そんないやなトラブルの再発防止のために、だれでも取掛かりやすい、</p> <p>“交通 の危険・予知・トレーニング(KYT)”の手法を開発の現場に適用しました。</p>	

タイトル名	SIMPLIA(シンプリア)、INSTANTCOPY(インスタントコピー)製品のご紹介
企業名/団体名	富士通(株)
代表者氏名	松田 貴弘
<p>概要</p> <p>情報システムでのアプリケーションの開発作業、保守作業を支援する SIMPLIA(シンプリア)製品をご紹介します。SIMPLIA製品は、富士通のメインフレーム上で動作するGS/PRIMEFORCE シリーズ系製品と、Windows や Solaris /Linux 上で動作するオープン系製品があり、お客様の開発要件にあわせて、必要なツールを選択してご使用いただけます。</p> <p>★URL：http://software.fujitsu.com/jp/simplia/</p> <p>ポスターセッションでは、SIMPLIA/TF-MDPORT(エムディーポート)製品のマスク機能をご紹介します。マスク機能は、運用データを基に次期開発などテストデータを作成する際、各項目の意味を壊す事なく個人情報秘匿したテストデータを作成する機能です。</p> <p>また、Windows 画面のハードコピーをワンタッチで出力できるINSTANT COPY(インスタント コピー)製品をご紹介します。INSTANT COPYは、マニュアルや画面設計書の作成、テスト時の画面出力結果のエビデンス取得など幅広く使用されている製品です。</p> <p>★URL：http://software.fujitsu.com/jp/icopy/</p>	

タイトル名	オフショア検証 ～会社紹介と検証事例～
企業名/団体名	NEUSOFT Japan 株式会社
代表者氏名	柳 明哲
<p>概要</p> <p>NEUSOFT は中国 No.1 の IT リーディングカンパニーで、検証業務においても 10 年以上の経験があります。</p> <p>瀋陽、大連の拠点は日本からのアクセスも良く、日本語の分かる検証の技術者を多数揃えており、日本の企業からの依頼を数多く成功させてきました。</p> <p>中部地区では大手車載機器メーカー向けに検証の実績があります。特に開発側と協調し、内部で閉じた形で自主的に改善しながら品質向上、コストダウンを図っている点は高く評価されております。</p> <p>そこでオフショア検証に関して、弊社の会社紹介と検証事例をお話させていただきます。</p>	

タイトル名	自動化によるソフトウェア開発の質向上
企業名/団体名	合資会社 オン ザ ロード
代表者氏名	小林 恭平
<p>概要</p> <p>自動化を軸にソフトウェア開発の質向上に取り組んでおり、今回の発表では自動化の事例や取り組み方などについていくつか発表します。</p> <p>現在、様々な自動化支援のプロダクトが出現しており、多くの事を電子化できるようになっています。その範囲はプログラミングにおける自動化にとどまりません。自動化することはアイデア次第でどこまでも広がると私は考えています。</p> <p>ただし自動化することにおいて気をつけなければいけないポイントが存在するのも確かです。開発を加速するだけでなく、メンバーのスキルやモチベーションを向上するための有効な手段としての自動化について発表また討論したいと考えています。</p>	